



今回は、「クーリングシェルター」のお話

クーリングシェルターとはどなたでも無料で利用できる、暑さから身を守るための一時避難場所です。

近年、猛暑日が増え、熱中症による救急搬送も増加しています。

利根町では、熱中症警戒アラートや特別警戒アラートが発表された際の重大な健康被害を防ぐために、冷房の効いた公共施設などを「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」として指定しています。

設置期間は10月頃までとし、町内10か所を指定しています。

暑さを感じたときは無理をせず、クーリングシェルターを利用しましょう。

【設置場所】

- ・利根町役場庁舎（各棟1階待合席）
- ・利根町保健福祉センター（ロビー）
- ・利根町文化センター（ロビー）
- ・利根町生涯学習センター（ロビー）
- ・利根町図書館（1階閲覧室ほか）
- ・布川地区コミュニティセンター（ロビー）
- ・とねふれあいプラザ（エントランス）
- ・利根町総合教育センター（1階休憩室）
- ・はない薬局（待合席）
- ・利根町薬局（待合席）

関連 URL

利根町「涼み処～指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）～の開設」
<https://www.town.tone.ibaraki.jp/kenkou-hukushi/page007098.html>
 独立行政法人環境再生保全機構「指定暑熱避難施設について」
<https://www.erca.go.jp/heatstroke/shonetsu/>



認知症地域支援推進員のつぶやき No. 96

チームオレンジ

「チームオレンジ」という言葉を聞いたことはありますか？認知症になっても、家族が認知症になっても「この町で安心して暮らしたい」という願いを叶えるための助け合いのチームです。利根町でもチームオレンジがさまざまなところでできてきました。「オレンジ」の由来は諸説ありますが、「温かさ」と「手助けします」という意味合いがあり、認知症のシンボルカラーになっています。

具体的には、認知症のことを正しく学んだ「認知症サポーター」の中から、さらにステップアップした人達が集まり、例えば定期的にお茶を飲みながらおしゃべりしたり、一緒にお買い物に行ったり、ちょっとしたお困りごとの相談に乗ったりします。大きな「介護サービス」というよりは「ちょっと頼れる、詳しいお隣さん」が近くにいてくれるという安心感があるのが特徴です。また「何かあったら助けてもらう」だけでなく、元気な方は「チームの一員として誰かの役に立つ」こともできます。

みんなでオレンジの輪を広げて、認知症の方が安心して暮らせる町にしていきたいと思います。

私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- | | | | |
|----------------|----------|----------------|----------|
| ●利根町地域包括支援センター | ☎68-2211 | ●利根町保健福祉センター | ☎68-8291 |
| ●複合福祉施設 響 | ☎61-8500 | ●介護老人保健施設 もえぎ野 | ☎84-6081 |